

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 255

2017年

3～4月号

行 事 案 内

3月手賀沼探鳥会

期 日 3月12日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 弥生3月、啓蟄も過ぎ、いよいよ春本番を迎えての定例探鳥会です。冬鳥、水鳥の旅立ちで少し寂しくなる手賀沼ですが、早くも新たに夏鳥との再会があるかも知れません。ウグイスの初音にも期待しましょう。服装には、余寒もありますのでご注意ください。

解 散 正午
担 当 松本

4月手賀沼探鳥会

期 日 4月9日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 冬鳥から夏鳥へと入れ替わる季節です。別れを惜しむように残っているカモ類や遠い南の国から来るツバメやコチドリに季節の移り変わりを感じながらじっくりと観察しましょう。

解 散 正午
担 当 小林(寿)、村井

3月、4月ピオトープ調査

期 日 3月2日(木) 雨天延期
4月6日(木) 雨天延期
集 合 手賀沼ピオトープ 午前9時30分
案 内 3-4月は冬鳥がまだ見られ、植物の芽が出、4月には桜、レンギョウ、柳、ハナカイドウの花も咲きます。野草の花は、3月には1-2月から咲き始めたオオイヌノフグリ、ホトケノザの他にタンポポ、ヒメオドリコソウ、4月にはカラスノエンドウ、スズメノエンドウ、ムラサキサギゴケ、アリアケスミレ、ツクシなどが見られます。蝶も3月に越冬したキタテハ、4月に春を告げるツマキチョウが見られます。野鳥は昨年3月28種、4月22種観察しました。春の暖かさの中で冬鳥を見送り、植物、昆虫を観察しながら、ピオトープ周辺を探鳥してみませんか。参加希望の方は下記までご連絡下さい。

解 散 午前11時30分
担 当 鈴木静治
Tel: 080-3121-4757

3月、4月手賀沼定点カウント

期 日 3月3日(金) 雨天延期

4月1日(土) 雨天延期
 集合 我孫子市役所 午前9時
 解散 正午予定
 担当 金子雅幸、船津登、桑森亮
 連絡先 桑森亮
 Tel: 04-7182-3149
 E-mail: r-kuwamori@jcom.zaq.ne.jp

秋ヶ瀬公園探鳥会

期日 3月19日(日) 雨天中止
 集合 我孫子駅北口 午前8時
 案内 秋ヶ瀬公園は、埼玉県中央部の荒川沿いの東側に位置しています。鳥の渡りの時期には、珍しい鳥が見られることもあります。今回は、ヤドリギ等集まるヒレンジャク、キレンジャクを期待しての探鳥会です。その他、アカゲラ、ベニマシコ等が期待できます。
 交通 自家用車分乗です。同乗者は一人2,000円(高速料金を含む)を運転者にお渡し下さい。自家用車を提供可能な方は、申込時にその旨を連絡願います。
 持物 観察用具、防寒具、雨具、飲み物、昼食(途中購入可)
 申込 船津登まで
 Tel: 090-7267-3728
 担当 村井、青木、船津

葛西臨海公園探鳥会

期日 4月23日(日) 雨天中止
 集合 我孫子駅改札口 午前7時50分
 案内 シギチ渡り探鳥の定番となった春の葛西臨海公園を昨年に続いて訪れます。天候に恵まれれば、干潟に集う多くの鳥たちを観察できることが期待されます。昨年は比較的稀にしか見られないヘラサギおよびクロツラヘラサギをかなり近

くから観察できるという幸運に恵まれました。鳥類園では、キンクロハジロ、ハシビロガモなどのカモ類が残っているかもしれません。
 交通 我孫子 8:02(千代田線) 8:15
 新松戸 8:26(武蔵野線、東京行き)
 9:00 葛西臨海公園
 持物 観察用具、雨具、昼食(葛西臨海公園駅の売店で購入可)
 申込 千葉洋まで
 (できるだけメールにてお願いします)
 Tel: 090-2434-4937
 担当 相良、千葉

3月役員会案内

日時 3月12日(日) 13:15~16:00
 (開始時刻に注意!)
 場所 北近隣センター並木本館
 第3会議室
 議題 平成29年度定期総会について
 ・平成29年度定期総会次第
 ・平成28年度事業報告・決算報告(案)
 ・平成29年度事業計画・予算(案)
 会報256号掲載予定記事について
 第24回「野鳥サロン」について
 報告事項
 ・講演会の実施結果
 ・対外対応状況 他
 その他(議題のある場合は桑森までご連絡ください。)

筑波山・雨引山探鳥会

期日 4月30日(日) 雨天中止
 集合 我孫子駅北口 午前7時
 案内 春恒例の探鳥会です。筑波山は昔から西の富士、東の筑波と並び称され

百名山・日本百景の一つです。山中には珍しい植物や美しい野鳥も多く自然の宝庫です。キビタキ、オオルリ、コルリ、センダイムシクイ、ソウシチョウ、ツツドリなどを求めて静かな裏側の山道から登ります。その後、雨引山まで足を延ばし、サシバや運が良ければサンコウチョウなどとの出会いを期待しています。

- 交通 自家用車分乗です。同乗者は一人1,500円を運転者にお渡し下さい。なお自家用車を提供可能な方は、申込時にその旨ご連絡下さい。
- 持物 観察用具、念のため雨具、昼食(途中購入可)
- 申込 小澤淳宏まで
Tel: 090-4756-4607
- 担当 桑森、小澤

富士山北麓探鳥会(5月実施)

- 期日 5月20日(土)、21日(日)
- 集合 我孫子駅北口ふれあい広場前
午前8時
- 案内 今回は新しい試みとして富士山北麓(ほくろく)を探鳥します。一日目は河口湖近くの「創造の森」周辺の探鳥です。オオルリ、コルリ等の山地帯の鳥が観察できます。二日目は「梨ヶ原」周辺の探鳥です。日本野鳥の会富士山麓支部の方にのご案内を依頼しております。オオジシギ、カッコウ、ホトトギスに期待です。又、宿泊地周辺は朝晩の探鳥にも適しています。晴れれば移動中は眼前に広がる富士山を堪能できます。
- 交通 小型バス
- 定員 20名(先着順です)
- 宿舎 フジプレミアムリゾート(世界一富士山に近いリゾート)
山梨県南都留郡富士河口湖町小立三階 7139-1

- Tel: 0555-73-1168
- 費用 29,000円程度
*この旅行はキャンセル料が発生することがあります
- 持物 観察用具、雨具、防寒具、昼食、飲物
- 申込 野口隆也まで(旅行傷害保険に入るため、生年月日をご連絡ください)
Tel: 04-7163-7898
- 担当 間野、野口(隆)

三宅島探鳥会(6月実施)

- 期日 6月2日(金)~4日(日)・・・(往き夜行船便、三宅島着3日(土)早朝~4日)
- 交通 JR我孫子駅 浜松町駅(歩15分) 竹芝栈橋(集合場所) 三宅島往復船便(東海汽船) 民宿(又は旅館)に1泊。島内移動・探鳥は三宅村営バス・徒歩。(詳細は参加(希望)者に連絡。)
- 案内 当会の公式行事としては初めての三宅島探鳥会です。2泊3日のツアーで、往きは夜行の船中泊(2等和室)となります。探鳥先は、大路池・アカコッコ館・伊豆岬・坪田地区等のポイントを廻ります。期待する鳥の例としては、アカコッコ、イジマムシクイ、ヤマガラ(オーストンヤマガラ)、コマドリ(タネコマドリ)、メジロ(シチトウメジロ)、ミソサザイ(モスケミソサザイ)、コゲラ、カラスバト、ホトトギス、トビ、サシバ、シマセンニュウ、イソヒヨドリ、クロサギ、アマツバメ、シギ類(夜間は、アオバズク、オオコノハズク)などで、代表的な三宅島の鳥たちを探します。(帰路)船上から、オオミズナギドリなど海鳥も。探鳥会の時期は6月とまだ先ですが、準備・詳細検討等に日数を要するため、大枠でご案内します。今後、

詳細スケジュールを検討して、参加者の皆さんにお知らせすることになります。また、宿舎や、船は苦手といった方々への上級船室への変更の可能性、などについても今後検討することになります。

なお、本探鳥会に関する事前説明会を、必要に応じ、開催することも検討していますが、開催が決まった場合は、メールリストで周知します。Eメールを使用していない方は申し込み先までお問い合わせ下さい。本探鳥行についての、質問・疑問などありましたら、遠慮なく、幹事へお問い合わせください。

費用 概算で3~3.5万円程度(詳細決定後、最終決定)、船便予約の都合上、一部費用を前金で集めさせていただきます。

*この旅行はキャンセル料が発生することがあります。

定員 15名

締切り 3月末を申込み締切りにします。定員になり次第締め切りますので、早めに申し込んで下さい。

持物 観察用具、雨具、防寒具、常備薬、ファーストエイド品、嗜好品等

申込 桑森亮まで

Tel/Fax: 04-7182-3149

担当 鈴木静治、田中功、桑森亮

第23回「野鳥サロン」のご案内

下記の通り「野鳥サロン」を開催致します。難しいお話は抜きで、鳥を話題に気楽なおしゃべりを楽しみたいと思います。

どうぞ軽い気持ちで、ご参加下さい。

日時 3月29日(水) 10:00~11:30

場所 我孫子北近隣センター並木本館
第3会議室

テーマ

人の生活と野鳥の影響

<絶滅に至った鳥について> 小澤
は何故? 金子

会費 一人300円(茶菓代ほか)

締切日 3月25日(土)

申込 金子雅幸まで

Tel: 04-7133-6944

担当 青木典子、小澤淳宏、金子雅幸

平成29年度定期総会

日時 4月9日(日) 13:30~15:00

場所 北近隣センター並木本館

第2、3会議室(予定)

議題 平成28年度事業報告、決算(案)
平成29年度事業計画、予算(案)
役員改選
その他

行事報告

12月手賀沼探鳥会

日時 2016.12.11 9:00~11:50

晴 風徐々に強くなる 5~10

青空が広がるよい天気ですが、少し肌寒く感じられました。JBF、親子ふれあい探鳥会で当探鳥会を知った4名が、初参加さ

れました。

最初の北千葉導水センター近くでは、葦原の杭に止まるノスリが見られました。センター近くから少し行った所で、木に止まるアカハラが見られました。ヒドリ橋からは、ハヤブサ、ミサゴが見られました。お立ち台からは、下沼に10種のカモ類が、フィッシングセンター上空を群で飛びミ

ヤマガラス、さらに上空を飛ぶオオタカが見られました。11時頃から風が強くなり、湖面が波立ち、鳥が見づらくなってきました。48種と多くの鳥が認められ良かったです。

< 認めた鳥 > キジ、コブハクチョウ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、オオタカ、ノスリ、カワセミ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、アカハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計 48種 番外 カワラバト

< 参加者 > 野口隆也、菊地幸雄、菊地昌江、西城猛、村松寿夫、大久保陸夫、田丸喜昭、間野吉幸、野倉元雄、古出洋子、榎本右、武藤康之、桑森亮、坂元貴子、森本宣久、村瀬和則、小林博之、小林美智子、小澤淳宏、石渡成紀、石井俊子、松田幸保、松本勝英、川村美智子、川村美恵子、西嶋昭生、徳重玲子、玉井修一郎、松村洋子、千葉洋、相良直己、木村稔、小林寿美子、斉藤空良、斉藤登美子
(担当) 船津登 計 36名

んでおり、オナガガモは久しぶりの多数羽を記録。また、コガモの大群が飛んで着水し、カウント数が多くなった。ヒドリガモは相当数が葦原に入っているようで、100羽に届かず。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	9	13	22
オカヨシガモ	0	7	7
ヒドリガモ	0	87	87
マガモ	0	95	95
カルガモ	92	77	169
ハシビロガモ	0	1	1
オナガガモ	0	127	127
コガモ	77	281	358
ホシハジロ	0	1	1
ミコアイサ	3	0	3
カイツブリ	15	6	21
カンムリカイツブリ	36	38	74
ハジロカイツブリ	1	9	10
カワウ	43	59	102
アオサギ	1	5	6
ダイサギ	4	6	10
コサギ	1	6	7
バン	2	2	4
オオバン	22	29	51
ユリカモメ	82	0	82
セグロカモメ	1	1	2
合計	389	850	1,239

< 調査者 > 桑森亮、船津登、松田幸保 計 3名

12月手賀沼ピオトープ調査

12月 手賀沼定点カウント

調査日時 2016.12.2 9:00~12:30
晴 3m/sの北風 10

北風で水面が波立ちカモは見難い中であつたが、水鳥のカウント数は全体で1,000羽を超え、昨冬シーズン以降では最高となつた。風のためか、上沼では、カモの数は少なく、オカヨシガモが見られなかったが、ユリカモメは多く飛び交っていた。下沼では、ハス群生地ではマガモとオナガガモの大群が休

調査日時 2016.12.6 9:35~11:25
晴 微風~強風 15~17

予定の12/1(木)は雨天のため、12/6(火)に延期しました。当日は天気が良かったため、斜面林は紅葉の黄、赤、茶、緑がパッチワークのようで綺麗。調査開始時の微風が次第に沼に白波が立つほど強くなる。ススキの穂が飛び交う。昆虫は殆ど見られず、ピオトープの道脇は草刈がしてあるため野草の花も少ない。ピオトープの池ではオオバン、カルガ

モ、コガモが泳ぎ、強風で飛んで水面に浮かぶススキの種子を採食する。ダイサギは魚を狙う。アシの茂みでオオジュリン、ウグイス、シジュウカラが地鳴き。抽水植物と枯れた蔓性植物の上をキジバト、コサギ、スズメ、ハシボソガラス、ムクドリ、モズが飛ぶ。二番穂の残る田ではセグロセキレイ、ハクセキレイ、ツグミが動き回る。沼岸ではカルガモ、アオサギ、カワウ、ユリカモメが見られた。観察した野鳥 20種 154羽、他に木の花 1種、実 5種、野草の花 1種、花穂 7種、蠅 1種、甲虫 1種、モグラ(盛り土)を観察しました。
 <認めた鳥> カルガモ、コガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、ユリカモメ、モズ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、オオジュリン 計 20種 154羽
 <調査者> 鈴木静治、間野吉幸、船津登、千葉洋 計 4名

ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クイナ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、ノスリ、カワセミ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン 計 45種 番外 カワラバト

<参加者> 野口隆也、間野吉幸、金子幸子、川村美恵子、小澤淳宏、常盤孝義、相良直己、野倉元雄、田丸喜昭、田丸メリールイス、松本勝英、船津登、野口紀子、小林博之、坂元貴子、坂元孝行、西嶋昭生、菊地幸雄、菊地昌江、西城猛、榎本右、石渡成紀、小玉文夫、木村稔、浅野利幸、横尾佳代子、松田幸保、古出洋子 (担当) 桑森亮 計 29名

1月手賀沼探鳥会

日時 2017.1.8 9:00~12:00
 曇り 微風 3

曇り空で気温が低く寒い日でしたが、風はほとんどありませんでした。新年最初の定例探鳥会で冬鳥の最盛期でもあり、期待を胸に探鳥会をスタートしました。

上沼では久し振りにクイナが 2 か所で姿を現し、楽しませてくれました。緑道では葎中に隠れていたオカヨシガモを見つけると一斉に水面に姿を現し、ハヤブサはいつもの鉄塔に成鳥 2 羽が止まっており、ミサゴも杭上にいてくれました。葎原ではホオジロ類が多かったですが、期待のベニマシコは声が聞こえませんでした。

下沼では大気が霞み見えにくい中でも湖面にばらつくカモ類数種が確認でき、期待のミコアイサも ペアで潜水を繰り返していました。

上沼・下沼を通してカワセミが何度か見られ、最後は市役所前でシメが現れ探鳥会を締め括ってくれました。

<認めた鳥> コバハクチョウ、オカヨシガモ、

1月手賀沼定点カウント

調査日時 2017.1.7 9:00~13:00
 快晴 無風 7~12

朝は霜が降り池に氷が張る寒さだったが、カウント時は風もなく穏やかな天気恵まれた。カモ類は、沼上にまとまった群れは見られず種類も少なかったが、コガモ、マガモが多くカウントされたため前年を上回った。また、この分だけ総数でも多く、スタートの月として 1,300 はまずまず。

調査種	上沼	下沼	合計
コバハクチョウ	28	31	59
ヒドリガモ	0	58	58
マガモ	0	148	148
カルガモ	66	59	125
オカヨシガモ	0	24	24
コガモ	185	169	354
ホシハジロ	0	5	5
ミコアイサ	1	2	3
カイツブリ	21	14	35
カンムリカイツブリ	30	12	42

ハシロカイツブリ	5	11	16
カウ	24	83	107
アオサギ	22	2	24
タヒギ	1	4	5
コサギ	1	12	13
クハ	1	0	1
バン	8	0	8
オオバン	29	76	105
ユリカモ	60	100	160
セグロカモ	0	1	1
合計	482	811	1,293

<調査者> 桑森亮、船津登、金子雅幸 計3名

1月手賀沼ビオトープ調査

調査日時 2017.1.5 9:30~11:00
快晴 やや強い風 9

遠くに白き富士山が見られ、鷹(チョウゲンボウ)が飛ぶ。風が徐々に強くなり、沼に白波が立つ。斜面林、ビオトープ、沼共に冬景色。ヒメガマの穂の種子が風で飛ばされ道路に白い所が出来る。強風に拘わらず観察した野鳥 23種 106羽。水田では耕された田でカワラバト、ハシボソガラスが餌探し、アオジが畦近くの草の茂みを動く。ビオトープの池では、カルガモ、コガモ、バンが泳ぎ、アオサギ、コサギが水の中を歩き、カワセミが葦に止まる。葦原、桜の木にはモズ、キジバト、ツグミ、アオジ、ホオジロが見られ、上空をチョウゲンボウ、ユリカモメ、カウが飛ぶ。森ではヒヨドリが鳴き飛ぶ。沼岸近くの葦原でアオジが動き、カウが飛ぶ。杭にハシボソガラスが止まる。沼岸の葦原より沼中へカルガモ、オオバン、ハジロカイツブリ、ミコアイサ、ホシハジロが動く。カイツブリの鳴き声が聞こえる。他に木の花1種、実4種、野草の花2種、花穂5種、小動物2種も観察出来ました。

<認めた鳥> カルガモ、コガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カウ、アオサギ、コサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、カワセミ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、

ツグミ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、カワラバト 計23種 106羽

<調査者> 鈴木静治、間野吉幸、船津登、金子雅幸、蒲田知子、池田日出夫、千葉洋 計7名

小見川・神之池・江戸崎 探鳥会

12月25日

マガン、ミコアイサ、コミミズク初見!

千葉洋

久しぶりの探鳥会でしたが、初めて見る野鳥と出会えたうえに、朝の曇り空も昼からは気温12、無風、快晴と好天に恵まれ、充実した一日でありました。

最初の観察ポイントは、天然記念物のオオヒシクイが関東地方で唯一越冬する稲敷市稲波干拓地。観察小屋の掲示によると131羽が越冬中で、それに混ざってマガンが2羽いるとのこと。一行が陣取った土手には「これ以上接近禁止」のカラーコーンが置かれ、保護団体の方がガードしています。今年は飛ぶ頻度が高いのを見て、過剰接近防止対策として設置されたようです。二番穂をつけた水田の少し遠くの方を眺めると、首をたたくて眠っている個体、伸びをするように翼を大きく広げている個体、じっと立っている個体が、群れをなしています。時折、セピア色の穂陰に隠れて見えなかった別のオオヒシクイが、稲穂の波間から頭をもたげてはまた沈んでゆき、なんとも幻想的なシーンでした。またマガンも、白みがかった嘴を一瞬覗かせた一羽を神部さんが目ざとく見つけてくれたおかげで、スコープで初対面することができました。

第2ポイントの神栖市神之池緑地公園では、驚くほどのカモ類が水面を埋めていました。詳細は幹事報告にお譲りしますが、ここでもまた、神部さんのおかげでミコアイサを初めて見る事ができました。私の「お散歩探鳥」コースである北柏ふるさと公園からヒドリ橋までのエリアでは一度も遭遇したことはありません。池のこちら岸にメス1羽、向う岸にオス1羽と、他のカモ類は雌雄混ざって群れているのに、ミコアイサだけは2

羽とも遠く離れ離れのままで、互いを探している気配はまったくありません。恋の季節にはまだ早く、異性に無関心なのでしょうか。ともあれ、パンダガモとして人気のオスに劣らず、メスも近くで見るとぱっちり目で、なかなかチャーミングであることを発見しました。

最終ポイントは、ワシ・タカを目的に香取市小見川土手。ここではトビやチュウヒに加え、観察終了間際になって桑森さんの猛禽類にも劣らぬ鋭い眼が、河原に置かれたカラーコーンの先端にとまったコミミズクの姿を捉えました。おかげで初めて見るこの鳥を比較的近くからじっくり観察することができました。フクロウ科の野鳥は、奥深い林のなか、それも夜しか会えないものと諦めていましたが、マトリョーシカの顔をしたコミミズクとの初めての出会いに感動しました。

入念な下見で最適なコース設定をして頂いた担当の松田さん、小澤さんにお礼申し上げます。

【幹事報告】

本番 4 日前の下見でこの探鳥会の目玉の一つであるオオヒシクイの姿が全く見られず、2年連続でオオヒシクイを観察できないのは何とか避けたいとの思いから、比較的観察できる可能性が高い午前中に江戸崎を訪れるため、思い切って今までの順路を逆に回ることに賭けた探鳥会でした。参加者 21 名は 6 台の車に分乗し、稲敷(旧江戸崎)雁の郷友の会の方から教わった新たなルートで順調に江戸崎稲波干拓地に到着しました。田んぼの中にオオヒシクイの姿を確認できたとき、これで幹事の責任の半分は果たせたとの思いでほっとしたものです。今年は 131 羽のオオヒシクイが越冬しているほか、マガンも 2 羽飛来しているとの情報があり、群れの中にその 2 羽をみつけた時には、予想もしていなかった鳥を観察できた喜びを全員で分かち合うことが出来ました。次の神之池ではほぼ例年通りの水鳥を観察できたが、今年はミコアイサを探すのに少し苦労するほど飛来数は少ないようでした。最後に向かった小見川堤防では、河川敷の工事のため葦原の一部が刈られ、今まで見られなかったワンドが堤防からよく見えるようになっていました。そこではカワウの追い込み漁をじっ

くり観察できました。ミサゴ、チュウヒ、ノスリ、トビなどを観察し、3時を過ぎ陽が少し傾き始めたとき桑森さんがコミミズクを見つけ大騒ぎになりました。誰一人として想定もしていなかったコミミズクを見ることが出来、参加者の満足度はマックス。道の駅「発酵の里こうざき」で鳥あわせを終えたときは少し薄暗くなりかけていました。風もなく穏やかな天気恵まれ、マガン、コミミズクという想定外の鳥との巡り合いという形で 2016 年最後の探鳥会を締めくくれたのは本当にラッキーでした。

< 認めた鳥 > キジ、オオヒシクイ、マガン、コブハクチョウ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、タゲリ、タカブシギ、イソシギ、ユリカモメ、ウミネコ、カモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、ノスリ、コミミズク、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ 計 55 種 番外 シナガチョウ、カワラバト

< 参加者 > 大久保陸夫、浅野利幸、田中功、池田日出男、野倉元雄、中根忠、間野吉幸、弘實和昭、坂元貴子、坂元孝行、桑森亮、渡邊俊文、神部充、船津登、吉田隆行、千葉洋、井上正、村松寿夫、畠中暁美 (幹事) 松田幸保、小澤淳宏 計 21 名

本 埜・印 旛 沼 探 鳥 会

1 月 22 日

ハクガン、タシギ、オシドリに大興奮

坂元貴子

連日冷え込みが厳しく完全防備で臨んだ探鳥会でしたが、皆さんの行いが良いせいか朝のうちこそ冷え込みましたが、徐々に気温も上がり風も穏やかで探鳥会日和になりました。

白鳥の飛来地の本埜では、オオハクチョウ、コハクチョウの中に一羽紛れ込んだハクガンに興奮しました。何度か行ったことがありましたが初めて見つけることが出来ました。

吉高揚排水機場では、キジのメスが間近に現れ羽の艶が見事で、その目力にびっくりしました。また、水鳥も多く見ることができました。ハジロカイツブリとミミカイツブリの見分け方など貴重なお話をお聞きすることもでき、今まで一人で鳥を見て楽しんでいた私にとってはとても参考になりました。

甚兵衛公園近くのタシギ、別所谷津公園のオシドリと収穫の多い、大興奮の1日でした。

【幹事報告】

今回の探鳥会は、本埜の白鳥、印旛沼の水鳥、印西別所公園のオシドリです。

当日は晴、微風、日中暖かく探鳥会にはもってこいの日でした。

最初の目的地“白鳥の郷”では、広々とした田圃の一角 60 アールの田に水が張られ 520 羽の白鳥が鳴き交わし、400 羽のオナガガモがいました。まずお目当てのハクガンを確認。のちオオハクチョウとコハクチョウの識別、これは個体数が多いので容易に確認。アメリカコハクチョウは確認出来ず。近くにはタヒバリが歩き回っており、じっくりと観察出来た。

2 番目“印旛沼の水鳥”は沼が広いので、2 箇所、吉高揚排水機場と甚兵衛公園から沼の東側土手で探鳥。最初の揚排水機場では、まず沼際にいるモモイロペリカンを観察。次いでサイクリングロードより沼の方にカモ類、カイツブリ、ミサゴ、カモメ、アオサギ等確認。また田圃の方にカシラダカ、葦にオオジュリン、少しずつ場所を移動すると、シメ、カワラヒワやノスリが木の枝に、いずれも木の葉がなく、はっきりと鳥の様子が確認。水辺にイソシギを確認。この後甚兵衛公園に向かった。土手より探鳥。沼には、多数のカモ類の行列！行列！が続く。ただトモエガモは確認出来ず。ここは、沼、田んぼ、遠くに人家その奥に斜面林で、色々の環境の故か、沼に水鳥、低空にはチュウヒ、電柱にはノスリ、電線にはホオジロ、田にはタシギが出、面白い所であった。午後からは、3 番目の別

所公園のオシドリの探鳥。ここは「すりばち」(?)のような地形で底が池になっている。左右の斜面は樾の木で覆われて枝が池へ垂れているのもあり、また池の広さが探鳥に丁度よく、見え隠れするオシドリの様子とマガモの頭の構造色の様子がよくわかる所でした。およそ朝 8 時～14 時 30 分まで、参加者の方達も、それぞれ楽しまれた様子でした。< 認めた鳥 > キジ、ハクガン、コハクチョウ、オオハクチョウ、オシドリ、オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリカモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、モモイロペリカン、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、タシギ、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、クロハラアジサシ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン 計 57 種 番外 カワラバト

< 参加者 > 井上正、金子雅幸、間野吉幸、大久保陸夫、畠中暁美、相良直己、佐和橋みどり、古賀嗣朗、吉田隆行、船津登、小川克子、荻野知子、常盤孝義、坂元貴子、野倉元雄、松田幸保、野口紀子、金子幸子、松本勝英、玉井修一郎、小玉文夫、渡邊俊文、西城猛(幹事) 桑森亮、古出洋子、石井俊子 計 26 名

井頭公園探鳥会

1月28日

冬の井頭公園は絶好の探鳥日和でした

染谷迪夫

探鳥会の当日、我孫子は晴れ、無風、暖かく探鳥会にはもってこいの日でした。70km くらい先の真岡の井頭公園の探鳥環境は我孫子と同じように、晴れ、無風、暖かいでしょうか？期待しながら、朝 8 時、定刻通り出発しました。

途中のバスの中では、鳥当てクイズや、鳥の声クイズをしながら、過ごしました。

回答者は豪華な賞品を頂きました。9時半ごろ、下妻道の駅でトイレタイムと昼食を仕入れ、10時半ごろ井頭公園の駐車場に着きました。期待通り、晴れ、無風、暖かく、絶好の探鳥日和でした。各位、探鳥の準備をして、探鳥の開始です。井頭では、恒例のバードソンが行われます。A、Bの2班に分かれて、勝者は賞品は出ない、名誉だけを得るというゲームです。今回は認めた種類数は同数で、番外の種類数で勝負がままりました。

各班は、池の周りを時計回り、反時計回りというルールで探鳥します。筆者はB班で時計回りの組でした。陽光の池の中、ミコアイサの白の輝き、マガモのメタリックの緑の光沢が印象的でした。又、林の中では、落ち葉を漁って、餌を探すアカハラ、灌木の枝にとまるベニマシコなどを楽しみました。雑木林の落ち葉の中を歩く、かさっ、ごぞっ、の音、ふっくらした落ち葉のなかを歩く、何とも言えないあの感触、林の木漏れ日の中で取る昼食など自然を堪能しました。

午後2時半、井頭公園を出発、途中二宮道の駅で、井頭の時は、いつも買い求めるトチオトメのイチゴを購入。多少の渋滞に会いながら、夕日に映える富士山の美しいシルエットを眺めながら、午後5時半ころ無事我孫子に到着しました。

今回は鳥もまあ出てくれた方でした。実施にご苦労された幹事の方々、参加された皆さん有難うございました。

【幹事報告】

昨年に続き、今年も晴天に恵まれ、定刻8時にバスは出発した。国道6号、294号、408号は渋滞らしきものもなく順調で、最初のトイレ休憩箇所「しもつま道の駅」で、弁当購入、その後も道路整備工事が完工しており、車の流れは順調そのもの、車中でのカモ名前当てクイズを楽しんでいる内に、定刻10分前の10時20分に公園Pに到着した。

時節柄、流行中のインフルエンザ禍などのため、想定以上の計5名のキャンセルが生じ、予算上のやりくりを余儀なくされたが、参加者への「500円キャッシュバック」を諦めることでどうにか収まる見通しが立ち、半ば強制的でしたが、皆さんのご了承を得て、「キャンセル料徴収」は免れました。

園内に入り、鳥見亭に挨拶、野鳥情報を得、

恒例の「バードソン」形式で探鳥を始めた。園内は、暖気模様でしたが、日陰に入ると寒さもあり油断はできない。ポート池は6年前の震災の痕跡は全くななくなっていたが、水鳥たちの鳥影はかつての賑わいにはまだ戻っていない。探鳥路林は、間伐が行われて随所に陽が差し込んでおり、山野の鳥の探鳥には良い環境に思われた。あちらこちらでカメラのシャッター音が聞こえた。

お目当てのトモエガモ、ミヤマホオジロはA、B班ともに認められず、例年より低調な“鳥果”でしたが、ルリビタキ、ベニマシコが散見され、幹事としては救われた感がありました。特にバードソンの結果は、両班が41種と同数で、番外種でA班が1種、B班が2種で勝敗が番外種で決まるという珍事が起きたのは、今回のサプライズでした。

探鳥に夢中になり、20数分遅れの帰路出発となってしまう、途中の渋滞などで約小一時間遅れての我孫子駅着となりました。

<認めた鳥> ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ミコアイサ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、コサギ、オオバン、トビ、カワセミ、コゲラ、アカゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、トラツグミ、シロハラ、アカハラ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ビンズイ、アトリ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、アオジ 計46種 番外 コジュケイ、アヒル、カワラバト

<参加者> 船津登、小山雄司、小山和子、神部充、相良直己、森本宜久、大久保陸夫、間野吉幸、青木典子、野口隆也、野口洋子、桑森亮、金子幸子、野倉元雄、染谷迪夫、中根忠、村松寿夫、弘實さと子、小林博之、小林美智子、松村洋子、井上正、鈴木裕爾、鈴木幸子、(現地集合)阿保進、阿保国子、田丸喜昭、田丸メリールイス (幹事)小林寿美子、松本勝英 計30名

芋煮会と手賀沼遊歩道探鳥会

この場にいるだけで、楽しくなる！

12月としては暖かく風も無い最高の天気に恵まれ、34回目の芋煮会が行われた。残念ながら一昨年をピークに参加者は減少傾向にあるが、今年は一般会員の方6名が料理奉行に加わって呉れるなど、新しい動きも出て来た。

探鳥組は17名とちょっと寂しい参加者であったが、探鳥ルートを変えた効果が認められた鳥は一人2種以上の42種と多くを数えた。手賀沼でミヤマガラス、クイナが観察された他、ここで見られるほとんどの冬鳥が確認された。

53名が参加した芋煮会では、各奉行の皆さんが準備・整備した会場のあちこちで、美味しい料理を堪能しながら酒と会話を楽しむ姿が続いた。この場にいるだけで、自然と楽しくなる感じが皆さんにも見て取れた。料理の方は前年とほぼ同量の食材を用意したが、年々胃袋が小さくなる故に今年は料理が少し残り、多くの差し入れ品と共に競売に掛けられた。例年以上に多かった競売品を小林さんが巧みに捌き、大盛り上がりの状況が続く中完売した。恒例の集合写真も賑やかな内に撮り散会としたが、連続開催の記録は今年も継続した。皆様お疲れ様でした。各奉行の皆様、大変ご苦労様でした。

< 認めた鳥 > コブハクチョウ、ヒドリガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クイナ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、カワセミ、コゲラ、モズ、ミヤマガラス、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、アカハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ

計42種 番外 カワラバト

< 参加者 > 浅野利幸、青木典子、池田日出男、石井俊子、石渡成紀、岩田孝之、岩田マキエ、内田佳穂子、大久保陸夫、小澤淳宏、梶原裕美、金子雅幸、金子智恵子、木村稔、桑森亮、古出洋子、小玉文夫、小玉信子、小林博之、小林美智子、小林秀美、西城猛、相良直己、

相良純子、相良真帆、杉森文夫、鈴木静治、染谷迪夫、田中功、多葉田五男、千葉洋、常盤孝義、徳重玲子、仲澤成二、中根忠、野口隆也、野口洋子、野口紀子、野倉元雄、橋本了次、弘實和昭、弘實さと子、船津登、古高利男、松田幸保、松村洋子、松本勝英、松本葉子、間野吉幸、村井みとい、横尾佳代子、六角昭男、渡邊俊文 以上53名

(記：金子雅幸)

第22回「野鳥サロン」

第22回野鳥サロンが1月24日(火)我孫子市民プラザ 第1会議室で行われました。

まず木村稔さんより、正倉院展の出展宝物に鳥があしらわれていると解説した「時空はばたく鳥たち」というカラー資料について説明があった。日頃、万葉集を研究している木村さんらしく、紹介した万葉集に詠われている鳥の情景が、まさに「昨鳥文」の文様だとの解説付きで、所蔵の全集に載っている宝物の数々を示した。古代からペルシャ・中国で鳥がデザインに使われ、その後日本でもということらしい。

その後、昨秋に放送されたNHK俳句「渡り鳥」のビデオを鑑賞した。タカの渡り研究などで知られる樋口広芳教授がゲストで、当会も訪れた白樺峠や伊良湖岬が話題に出てなじみやすかった。

今日の二本柱である「俳句談議」では、事前に投稿され、古出さんがまとめた61句の鳥俳句について、参加者の選(好きな句1句、その次3句)を集計した。選出された句の選評と作句の状況などを発表してもらったが、大勢いたはずの選者が手を挙げない時もあったのがおかしかった。作者の名乗りで繰り返し名前が出てくる人があり、素養の違いを感じさせられた。参加者を巻き込む古出さんの企画はよかった。

参加者には俳壇や結社で活躍している人もおられるようで、指導を仰いで、かつてのように会報に俳句・短歌が載るようになることを期待します。古い「ほーほーどり」をHPで見れば鳥の俳句に出会えます。

時間の関係でアオバトのビデオは割愛させていただきました。

<参加者> 間野吉幸、金子幸子、桑森亮、阿保進、川上千里、千葉洋、西昭子、小林博之、野口紀子、野倉元雄、田中功、松村洋子、畠中暁美、関口小夜子、野口隆也、小野史子、平山美佐代(担当)古出洋子、松田幸保、木村稔 計 20名 (記: 松田幸保)

長寿大学探鳥指導

今年も冬鳥の揃う 12月 22日に探鳥指導を行った。11月並みの高い気温と雨の降り出しが何時か?と言った中、岡発戸の谷津田を歩いたが残念ながら見られた鳥はやや少ない目。サギ類・猛禽類が全く出ず、期待の赤い鳥・青い鳥も見られなかったが、多くの方が谷津田の素晴らしい環境に興味を覚え、今度は自分でも歩いてみよう...と言う声が聞かれた。また我々が見慣れた鳥もスコップを通して見る美しさ感激した様で、熱心に探鳥・質問し雨に追われて予定をオーバーして終了した。最後に我が会の定例探鳥会参加を呼び掛けたが、はたして顔を見せて呉れる方はいるのか?

<認めた鳥> キジ、キジバト、コゲラ、モズ、オナガ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ 計 23種

<参加会員> 松本勝英、船津登、桑森亮(担当)金子雅幸 計 4名

手賀沼船上冬鳥観察会

日時 1月 29日(日) 午前 10時~11時
場所 手賀沼(船上)
内容 手賀沼船上冬鳥観察会は我孫子市環境レンジャーと共催の市民向け船上探鳥会です。

人気の企画で、我孫子市の広報で募集した所すぐに満席になってしまいました。それでも当日キャンセル待ちをする人が並び、幸運な人と不運な人が出てしまいました。

葦原に隠れているせいか湖面に浮かぶ水

鳥は少なかったですが、18種の水鳥と11種の陸の野鳥を観察しました。

今回のハイライトの一つ目はハヤブサがオオバンを襲う光景が目の前で見られたことです。必死に逃げるオオバンをハヤブサが襲いましたが、葦の中に逃げ込み狩りは失敗しました。二つ目は杭の上に止まっているミサゴが至近距離で観察出来た事です。望遠レンズを持ったカメラマンは見事佇む姿や飛び立つ姿をカメラに収め満足された様子でした。三つ目は、突如葦原に隠れていた2~300羽のヒドリガモが湧き出るように沼から飛び立った光景が見られたことです。壮観でした。

桑森さんの名案内と相俟って、参加者の皆さんは普段見られない船上からの野鳥観察に大変満足した様子でした。この企画は来年もやるのかとの質問が複数の人からありました。

<認めた鳥> コブハクチョウ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、カウウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、ミサゴ、ノスリ、カワセミ、ハヤブサ、ハシボソガラス、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、セグロセキレイ 計 29種 番外 アヒル(青頸)、カワラバト

<参加者> 39名。一般 34名、会員 3名(桑森亮、松本勝英、相良直己)、環境レンジャー2名(吉川和俊、間野吉幸)

亀成川を愛する会探鳥会探鳥指導

今年度も、恒例の亀成川を愛する会主催の探鳥会「亀成川流域の里山散策シリーズ

『第15回 冬鳥を探そう』が2月5日(日)に開催されました。

当会からは、間野会長はじめ、野口(隆)、桑森、鈴木、船津、松本、村井、相良の8名が探鳥指導を行いました。

別所谷津公園から、古新田川流域の里山まで約2時間の往復コースです。

お子様連れを中心に一般市民参加者31名、亀成川を守る会スタッフ11名、合計50名

での大探鳥会となりました。
天候が危ぶまれていましたが、天気予報通り午前中は曇り空、風も無く絶好の探鳥日和、終了解散直後から雨が降り始めるという天候にも恵まれました。

その結果、別所調整池での予定のオシドリ、マガモ、ホシハジロなどの水鳥だけでなく、別所緑地沿いの遊歩道では、コゲラ、カシラダカ、シジュウカラ、ホオジロ、シロハラ、シメのみならず、予想外のアカゲラ、キジにも出会うことができ、合計 33 種もの野鳥に出会うことができました。

当会会員の丁寧な説明とスコープで間近に見る野鳥に目を輝かせ、参加の子供たちも大喜びでした。

野鳥ビンゴでは、満点の 8 ビンゴの方が何人も出るなど、全員が複数ビンゴを完成させ、ご褒美の野鳥カードに大満悦、素晴らしい探鳥会でした。

当会の定例探鳥会にも参加し、ハヤブサを見たいとのお子さんもあり、当会の今後にも意義ある探鳥会となりました。

(記：相良直己)

1 月役員会報告

日時 1月8日(日) 13:05~16:40
場所 我孫子北近隣センター並木本館
第3会議室

出席者数 19名

議事

1. 平成 28 年度の反省と平成 29 年度の活動に向けて
ホームページ(HP)改善検討委員会リーダーから当会 HP の課題について説明、提案があり、検討の中で幾つかの指摘や問題提起がなされ、今後、論点等を整理し、継続検討することにしました。
平成 29 年度に向けた活動の方向性につ

いては、会報 254 号で会長の年頭に当たったのの記事に記載された次の 4 項目をベースに事業計画案を作成することを決定しました。

魅力ある探鳥会の検討、開発
会員を増やす活動の推進
各種イベント等への一般会員の参画
拡大
既存諸活動の深化と他団体等との交流

2. ほーほーどり 255 号掲載予定記事
会報 255 号の掲載記事について、資料に基づき検討し、執筆担当等を決定しました。
3. 第 3 四半期会計報告
間野会長が会計担当に代わり資料に基づき報告し、異議なく了承されました。
4. 第 23 回「野鳥サロン」について
担当幹事が 3 月開催日程を検討中。
5. 宿泊探鳥会でのキャンセル料の取扱いについて
キャンセル料の取扱いの基本的考え方について資料に基づき検討し、提案通り決定しました。また、宿泊探鳥会の案内に際しては、参加費に「キャンセル料が発生することがあります。」と明記することにしました。
6. 報告事項
以下の事項が報告され、対応等を確認しました。
講演会(2/22(水)開催)の準備状況資料に基づき準備項目の具体的内容と対応担当を検討、確認しました。
対外対応状況等
事務局報告事項
「手賀沼の鳥たち」検討タスクチームの活動結果
資料に基づき報告され、了承されました。

以上

鳥 だ よ り

賑やかなミヤマガラスやアトリの群れが手賀沼に現れて、バーダーを楽しませてくれました。アトリの鳥だよりは、64件も手賀沼周辺全域から寄せられています。

この季節は百鳥繚乱、公園へ行くとたくさんの鳥たちに会うことができます。ウソ、シメ、ジョウビタキ、アオジにルリビタキ、綺麗な小鳥の周りを防寒具に身をくるんだカメラマンが取り巻いている光景をよく見かけます。寒い季節の風景のひとつです。

わざわざ山へ行かなくても、クイタダキやヤマガラ、ベニマシコ、ピンズイ、トラツグミなどを見ることが出来ます。水面にはオオハクチョウ、ハジロカイツブリなども来ています。ヒドリガモ、ヨシガモ、キンクロハジロ、ミコアイサ、オシドリ、ホシハジロ、オカヨシガモと人気者のカモたちも集まっています。

珍しい鳥としてはイカルチドリにアメリカヒドリ、アカエリカイツブリ、ハイロチュウヒなどの報告がありました。前年は現れていない鳥たちです。

キツキ科のアリスイも9件の報告がありました。北海道、本州北部では夏季に繁殖のため飛来する夏鳥ですが、本州中部以西では冬季に越冬のため移動してくる冬鳥です。

- | | |
|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 11.16[北新田]ツグリ(21) 水田
畠中暁美・桑森亮・松田幸保ほか 10名 | 農耕地の電柱上に
桑森亮 |
| 11.16[北新田]ツグリ(2) 2号排水路
畠中暁美・桑森亮・松田幸保ほか 10名 | 11.27[酒井根 6丁目下田の森]トビ(1)
鳴きながら飛来 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 11.16[北新田]ツグリ(4) 2号排水路
畠中暁美・桑森亮・松田幸保ほか 10名 | 11.27[酒井根 6丁目下田の森]アトリ(36)
林の上を群れで飛 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 11.18[西白井調整池]アトリ(2)
のカップル 百瀬喬 | 11.28[片山(手賀の丘公園)]ツグリ(3)
船津登 |
| 11.23[酒井根 6丁目下田の森]ツグリ(1)
林の木の天辺に飛来 飯泉仁 | 11.28[片山(手賀の丘公園)]ピンズイ(2)
地上で採食 船津登 |
| 11.23[酒井根 6丁目下田の森]アトリ(40)
林上空を群れで飛翔 飯泉仁 | 11.28[片山(手賀の丘公園)]ツグリ(15)
草原から飛び、木に止まる 船津登 |
| 11.23[酒井根 6丁目下田の森]ツグリ(1)
林縁を飛翔し移動 飯泉久美子 | 11.28[染入新田]ツグリ(1)
農地上空を飛翔 桑森亮 |
| 11.23[光ヶ丘 4丁目]ツグリ(1) ムドリに
追尾され南南東から北に飛翔 飯泉仁 | 11.28[染入新田地先]ツグリ(1)
水面を移動 桑森亮 |
| 11.25[片山(手賀の丘公園)]ツグリ(1)
船津登 | 11.29[片山(手賀の丘公園)]ツグリ(1)
地上で採食 船津登 |
| 11.25[片山(手賀の丘公園)]ツグリ(2)
鳴き声 船津登 | 11.29[手賀の丘公園]アトリ(9)
池の水場に 桑森亮 |
| 11.25[上沼田]ツグリ(約 200)
田圃で約 100羽が採食、その後約 100羽
が飛んできた 船津登 | 11.30[江蔵地]ベニマシコ(2)
葎原の茂みで草の実を啄む 鈴木静治 |
| 11.25[布佐平和台]ツグリ(1)
電線にとまり餌を食べる 鈴木静治 | 11.30[酒井根 6丁目下田の森]ツグリ(1)
上空を飛翔 飯泉久美子 |
| 11.26[染入新田地先]ツグリ(1)
漁網付近の水面に 桑森亮 | 12.01[大井新田地先上沼]ツグリ(4)
水面に浮いて休息 吉田隆行 |
| 11.26[西白井調整池]アトリ(2) 30羽ぐ
らいのヒドリガモと滞留 池田日出男 | 12.01[中峠]ツグリ(1)
斜面林から飛び別の林に 松本勝英 |
| 11.27[岡発戸]ツグリ(1) | 12.01[中峠]ツグリ(6)
利根川沿いの草地 松本勝英 |
| | 12.01[中峠]ツグリ(3) 水路で 松本勝英 |

- 12.02[手賀沼]カサガ ㄷ(7)
下沼 7 桑森亮・船津登・松田幸保
- 12.02[手賀沼]ハシビ ㄷ(1)
下沼 1 桑森亮・船津登・松田幸保
- 12.02[手賀沼]ミコイ(3)
上沼 3 桑森亮・船津登・松田幸保
- 12.02[手賀沼]ハシ(4)
上沼 2,下沼 2 桑森亮・船津登・松田幸保
- 12.02[手賀沼]ミサゴ (2)
上沼 2 桑森亮・船津登・松田幸保
- 12.02[手賀沼]イソヅ (1)手賀沼公園地先
桑森亮・船津登・松田幸保
- 12.02[手賀沼]ハシカ ㄷ(1)
下沼 1 桑森亮・船津登・松田幸保
- 12.02[手賀沼]ハシガ サ(1)
上沼 1 桑森亮・船津登・松田幸保
- 12.03[大井新田地先上沼]ミコイ(1)
水面に浮いている様子 吉田隆行
- 12.03[大井新田地先上沼]カサガ ㄷ(23)
水面に浮いて休息 吉田隆行
- 12.03[酒井根 6 丁目下田の森]アト(3)
シダヤギ の枝に飛来 飯泉仁
- 12.03[高野山]ヤマガ ラ(1)
鳴き声が聞こえる 鈴木静治
- 12.03[ヒドリ橋]アライ(1)
木に止まって鳴いていた 吉田隆行
- 12.04[上沼遊歩道]ハシガ サ(1)
鉄塔 97 上部に止まっていた。目を離したら鉄塔 96 へ移動 吉田隆行
- 12.05[片山(手賀の丘公園)]ノリ(1)
上空を飛ぶ 船津登
- 12.05[片山(手賀の丘公園)]トクイダキ(3)
杉の木の中で動く 船津登
- 12.05[片山(手賀の丘公園)]ヤマガ ラ(10)
船津登
- 12.05[片山(手賀の丘公園)]ヒノシイ(2)
木に止まる 船津登
- 12.05[片山(手賀の丘公園)]アト(3)
桜の木に止まる 船津登
- 12.05[片山(手賀の丘公園)]カサガ カ(4)
草原から飛び木に止まる 船津登
- 12.05[戸張新田]ノリ(1)
ハシボソガラスにモビングされていた。
時折反撃に転じていた。 吉田隆行
- 12.07[泉村新田]ケリ(7) 上空を飛ぶ 船津登
- 12.07[大井新田(手賀沼側)]アライ(1)
葦原から飛び木に止まる 船津登
- 12.07[大井新田地先上沼]ミコイ(1 4)
湖面を泳ぎながら採餌の様子 吉田隆行
- 12.08[片山新田(手賀沼側)]ハシカ(1)
鳴きながら飛び草に止まる 船津登
- 12.08[片山新田(手賀沼側)]ハシカ(1)
葦原の穂に止まる 船津登
- 12.08[戸張新田地先上沼]カサガ ㄷ(30)
葦原から湖面へ移動 吉田隆行
- 12.09[江蔵地]カサガ カ(10)
草原より林に飛ぶ 鈴木静治
- 12.09[江蔵地]カサガ ヲ(2)
川岸より鳴き声 鈴木静治
- 12.09[片山(手賀の丘公園)]トクイダミ(1)
地上から飛び木に止まる 船津登
- 12.09[片山(手賀の丘公園)]カサガ (2)
地上から飛び小枝に止まる 船津登
- 12.09[布瀬]ミサゴ (1)
田、川の上空を飛ぶ 鈴木静治
- 12.11[酒井根 6 丁目下田の森]アト(3)
鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.11[酒井根 6 丁目下田の森]ヤマガ ラ(1)
林縁を移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.12[片山(手賀の丘公園)]ヒノシイ(5)
地上から飛び木に止まる 船津登
- 12.13[大井新田]ハシカ(1)
田でハシカトを食べる 船津登
- 12.13[大井新田地先上沼]ノリ(1)
カラスに追われ飛び去った 吉田隆行
- 12.13[布佐平和台]ヤマガ ラ(1)
庭の木の枝に止まる 鈴木静治
- 12.16[片山(手賀の丘公園)]ハシカ ㄷ(1)
上空を飛ぶ 船津登
- 12.16[片山(手賀の丘公園)]トクイダミ(1)
地上から飛び木に止まる 船津登
- 12.16[片山(手賀の丘公園)]カサガ (1)
地上で採食 船津登
- 12.17[水道橋～千間橋(手賀川右岸)]ミコイ(1)
(1) 採餌、休憩 小山雄司
- 12.17[大井新田]ハシカ(1)
幼鳥、太陽に向かって飛翔 吉田隆行
- 12.17[手賀新田(手賀川)]ミコイ(2)
川で潜水を繰り返す 船津登
- 12.18[大井新田先手賀沼]カサガ ㄷ(3)
水面を移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.18[大井新田先手賀沼]ミサゴ (1)
杭上で魚を食べる 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.18[片山新田先手賀沼]ハシカ(1) 葦原の

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 中から鳴き声 飯泉仁・飯泉久美子 | 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 12.18[片山新田先手賀沼]㍻㍻(9) | 12.26[片山(手賀の丘公園)]㍻㍻㍻(3) |
| 東方向から水田 飯泉仁・飯泉久美子 | 松の木で動く 船津登 |
| 12.18[片山新田先手賀沼]㍻㍻㍻(1) | 12.26[片山(手賀の丘公園)]㍻㍻㍻(2) |
| 葦原沿いを移動 飯泉仁・飯泉久美子 | 枯れ草に止まる 船津登 |
| 12.18[片山新田先手賀沼]㍻㍻㍻(1) | 12.29[岩井新田]㍻㍻㍻㍻(1) |
| 草原の中を移動 飯泉仁・飯泉久美子 | 蓮田で泳ぐ 船津登 |
| 12.18[片山新田先手賀沼]㍻㍻㍻(1) | 12.29[大井新田]㍻㍻㍻(2) |
| 草原の中を移動 飯泉仁・飯泉久美子 | 上沼で泳ぐ 船津登 |
| 12.18[中沼田]㍻㍻㍻㍻(約 100) | 12.29[高野山新田]㍻㍻㍻(1) |
| 田より飛び立つ 鈴木静治 | 水辺を歩く 船津登 |
| 12.18[中沼田]㍻㍻㍻㍻㍻(1) | 12.29[高野山新田]㍻㍻㍻(3) |
| 田の上を直線状に飛ばす 鈴木静治 | 水路で採食 船津登 |
| 12.18[箕輪新田先手賀沼]㍻㍻㍻㍻(1) | 12.31[相島]㍻㍻㍻㍻(約 100) |
| 蓮田の中で 飯泉仁・飯泉久美子 | 田で群れ餌探し 鈴木静治 |
| 12.18[箕輪新田先手賀沼]㍻㍻㍻㍻(1) | 12.31[江蔵地]㍻㍻㍻(1) |
| 葦原から鳴き声 飯泉仁・飯泉久美子 | 河川敷上空を飛ばす 鈴木静治 |
| 12.18[箕輪新田先手賀沼]㍻㍻㍻(1) | 12.31[江蔵地]㍻㍻㍻㍻(2) |
| 斜面林上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子 | 葦原より鳴き声 鈴木静治 |
| 12.19[片山(手賀の丘公園)]㍻㍻㍻㍻(5) | 12.31[江蔵地]㍻㍻㍻㍻(約 10) |
| 船津登 | 葦原より飛び柳の枝に止まる 鈴木静治 |
| 12.19[片山(手賀の丘公園)]㍻㍻㍻(5) | 12.31[江蔵地]㍻㍻㍻㍻(4) 河原の柳の大木 |
| 地上で採食 船津登 | で小さな芽を啄む 鈴木静治 |
| 12.19[片山新田(手賀沼側)]㍻㍻㍻(2) | 12.31[発作]㍻㍻㍻(1) |
| 葦原の穂に止まる 船津登 | 川の葦原、田の上を飛ばす 鈴木静治 |
| 12.19[北柏ふるさと公園]㍻㍻㍻(4+) | 1.01[千間橋～水道橋]㍻㍻㍻㍻(1) 小山雄司 |
| モミジの木で採餌 吉田隆行 | 1.02[東中新宿]㍻㍻㍻㍻㍻(1) |
| 12.20[泉村新田(手賀沼側)]㍻㍻㍻(1) | 高圧線周辺を飛翔 飯泉仁 |
| 草原から飛び木に止まる 船津登 | 1.03[片山(手賀の丘公園)]㍻㍻㍻(1) |
| 12.20[泉村新田(手賀沼側)]㍻㍻㍻㍻(1) | 桜の木に止まる 船津登 |
| 枯れ草の中を動く 船津登 | 1.03[北柏ふるさと公園]㍻㍻㍻(4+) |
| 12.20[江蔵地]㍻㍻㍻㍻(5) | 高い木々の上部を動き回る 吉田隆行 |
| 桑、葦に止まる 鈴木静治 | 1.03[鷲野谷新田]㍻㍻㍻㍻㍻(1) |
| 12.20[江蔵地]㍻㍻㍻(1) | 電柱に止まる 船津登 |
| 農道の電柱上に止まる 鈴木静治 | 1.05[泉村新田]㍻㍻㍻(1) 上空を飛ばす 船津登 |
| 12.20[大井新田(手賀沼側)]㍻㍻㍻(1) | 1.05[片山新田]㍻㍻㍻(9) 田で採食 船津登 |
| 木に止まる 船津登 | 1.05[上沼田]㍻㍻㍻㍻㍻(約 150) |
| 12.20[発作]㍻㍻㍻㍻㍻(1) | トラクターの近くに群れ餌探し 鈴木静治 |
| 葦原、田の上を低空で飛ばす 鈴木静治 | 1.05[戸張地区公園]㍻㍻㍻㍻(1) 公園周辺部で |
| 12.20[鷲野谷新田]㍻㍻㍻(1) | 採餌(モミジの実?) 吉田隆行 |
| 電柱に止まる 船津登 | 1.05[鷲野谷新田]㍻㍻㍻(1) |
| 12.21[布佐平和台]㍻㍻㍻㍻(1) | 電柱に止まる 船津登 |
| 電線に止まり鳴く 鈴木静治 | 1.05[岡発戸新田]㍻㍻㍻㍻㍻(1) 上空を飛ばす |
| 12.22[戸張地区公園]㍻㍻㍻㍻(1) | 鈴木静治・船津登・間野吉幸・池田日出 |
| 芝生で採餌 吉田隆行 | 夫・金子雅幸・蒲田知子・千葉洋 |
| 12.25[酒井根 6 丁目下田の森]㍻㍻㍻(7) | 1.05[岡発戸新田]㍻㍻㍻(1) 池を泳ぐ |
| 上空を北方向から南方向に移動 | 鈴木静治・船津登・間野吉幸・池田日出 |

- 夫・金子雅幸・蒲田知子・千葉洋
- 1.06[大井新田地先上沼]ミコイ(1)
採餌 吉田隆行
- 1.06[下沼田]ヤマガラス(約 40)
二番穂の田で餌探し 鈴木静治
- 1.07[北新田]ハソ(1) 松本勝英
- 1.07[北新田]ノスリ(1) 松本勝英
- 1.07[手賀沼]ミコイ(3)上沼 1,下沼 2
金子雅幸・船津登・桑森亮
- 1.07[手賀沼]ミコイ(1)下沼 1
金子雅幸・船津登・桑森亮
- 1.07[手賀沼辺]クヰ(1)上沼 1
金子雅幸・船津登・桑森亮
- 1.07[手賀沼辺]ノスリ(1)下沼 1
金子雅幸・船津登・桑森亮
- 1.07[手賀沼辺]ハブサ(2)上沼 2
金子雅幸・船津登・桑森亮
- 1.07[天王台 5 丁目]カマカラス(2)
白色型と黒色型を 1 羽づつ。あびこ自動車教習所の前の電線に、埧入り前に集結、ミヤマガラスに混じって 松田幸保
- 1.07[中峠]ノスリ 枯れ田の栓頂に 松本勝英
- 1.07[中峠]クヰ(9) 松本勝英
- 1.07[古利根沼沿道]ハニシ 松本勝英
- 1.08[柏の葉公園]ハビコ(17) 県民プラザ
前の池の縁で休んでいた
飯泉仁・飯泉久美子
- 1.08[柏の葉公園]カヨガ(42) 県民プラザ
前の池の水面を移動
飯泉仁・飯泉久美子
- 1.08[柏の葉公園]アトリ(1) 鳴きながら枝に飛来
飯泉仁・飯泉久美子
- 1.08[北新田]フユ(1) 畠中暁美
- 1.08[北新田]クヰ(10) 畠中暁美
- 1.08[北新田]カハシ(2) 畠中暁美
- 1.08[布佐平和台]ヤマガラス(1)
宅地の庭に木に止まる 鈴木静治
- 1.09[大津川河口]カヨガ(16)
水面に浮かび休息 吉田隆行
- 1.09[片山新田(手賀沼側)]ハソ(6)
田で採食 船津登
- 1.09[戸張地区公園]アトリ(10+) モミジから桜の木へ移動、休息 吉田隆行
- 1.09[光ヶ丘廣池学園]アトリ(100) ケヤキの木に鳴きながら飛来 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.10[片山(手賀の丘公園)]ヤマガラス(3)
船津登
- 1.10[片山(手賀の丘公園)]カマカラス(約 20)
枯れ草から飛び木に止まる 船津登
- 1.10[戸張新田]ハブサ(2) 1 羽が鳩を襲うも失敗、鉄塔 95 に戻ると、先着のハブサが場所を開け、反対側に飛び移った
吉田隆行
- 1.11[大井新田]アリス(2)
葦原から飛び木に止まる 船津登
- 1.11[中沼田]クヰ(1) 田圃の水路に
桑森亮
- 1.12[大井新田地先上沼]ミコイ(1) 上空を旋回して餌を探していた 吉田隆行
- 1.12[上沼田]ヤマガラス(40)
電線で休み、動く 桑森亮
- 1.12[染井入落地先]ヨガ(1)
1 羽が水面で休む 桑森亮
- 1.12[染井入落地先]クヰ(2)
水面と葦中を移動 桑森亮
- 1.12[高野山新田]クヰ(1)
水辺で採食 船津登
- 1.12[手賀の丘公園]アトリ(3)
樹上、林床で採餌 桑森亮
- 1.13[江蔵地]アトリ(5)
河原の柳の梢に止まる 鈴木静治
- 1.13[江蔵地]カマカラス(55)
草原で採食 鈴木静治
- 1.13[江蔵地]ハニシ(4)
葦原と柳の木の間に飛ぶ 鈴木静治
- 1.13[鷲野谷新田]ノスリ(1)
電柱に止まる 船津登
- 1.15[曙橋]ミコイ(2)
水面を移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.15[曙橋]ノスリ(1)
上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.15[北新田]クヰ(14) 農免道路脇水田から飛び立つ 畠中暁美・松田幸保他 9 名
- 1.15[北新田]クヰ(1) 4 号排水路
畠中暁美・松田幸保他 9 名
- 1.15[北新田]ノスリ(3) 電柱に止まる
畠中暁美・松田幸保他 9 名
- 1.15[光ヶ丘廣池学園]アトリ(97) 鳴きながらケヤキの木に集結 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.15[布瀬]ハブサ(1) 雄成鳥が飛翔し移動
飯泉仁・飯泉久美子
- 1.15[北新田]クヰ(1) 飛翔
畠中暁美・松田幸保他 9 名
- 1.15[北新田]ハブサ(1) 2 号排水路近く

- の水田 畠中暁美・松田幸保他 9 名
- 1.16[大井新田地先遊歩道]北ノイ(1)
芝生で採餌 吉田隆行
- 1.16[片山(手賀の丘公園)]栲ウダキ(4)
杉の木の中で動く 船津登
- 1.16[片山(手賀の丘公園)]ヤマガ(5)
船津登
- 1.16[片山(手賀の丘公園)]トラクミ(1)
地上から飛び木に止まる 船津登
- 1.16[片山(手賀の丘公園)]北ノイ(1)
水場に現れる 船津登
- 1.16[片山(手賀の丘公園)]カクタガ(2)
飛んで木に止まる 船津登
- 1.16[戸張新田地先上沼]ワカシ(1)
湖面を泳ぐ 吉田隆行
- 1.16[布佐平和台]ヤマガ(約 70)
住宅の上空を群れ飛ぶ 鈴木静治
- 1.17[大井新田(手賀沼側)]ミカ(2)
上沼の杭に止まる 船津登
- 1.17[高野山新田地先]ハノ(5)
湿地(葎原)の中で採餌 桑森亮
- 1.17[高野山新田地先]クイ(2)
葎原の中で鳴いて動く 桑森亮
- 1.17[戸張新田(手賀沼側)]アノイ(1)
草原から飛び木に止まる 船津登
- 1.18[宗甫]カシガモ(25)
調整池で群れ泳ぐ 鈴木静治
- 1.18[宗甫]ワカシ(約 20)
調整池で群れ泳ぐ 鈴木静治
- 1.18[発作]クイ(2)
川岸を歩きまわる 鈴木静治
- 1.18[別所]ホドリ(8)
調整池の岸の茂みで休む 鈴木静治
- 1.18[別所]カクタガ(7)
葎の茂みより飛び出す 鈴木静治
- 1.19[相島]ヤマガ(約 110)
田の上を群れ飛び電柱に止る 鈴木静治
- 1.19[下沼田]カ(2)
川岸の枯草より飛び立つ 鈴木静治
- 1.19[下沼田]ノイ(1)
農道の電柱に止まる 鈴木静治
- 1.19[手賀新田]ミカ(4)
川中を泳ぐ 鈴木静治
- 1.19[手賀沼]ミカ(上沼 2、下沼 2)
杭先に止まる 松本勝英
- 今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオジ、アカエリカイツブリ、
アカゲラ、アカハラ、アトリ、アメリカヒ
ドリ、アノイ、イカルチドリ、イソシギ、
ウグイス、ウソ、エナガ、オオジュリン、
オオタカ、オオハクチョウ、オオバン、オ
カヨシガモ、オシドリ、オナガ、オナガガ
モ、カイツブリ、カケス、カシラダカ、カ
ルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、
カンムリカイツブリ、クイタダキ、キジ、
キジバト、キセキレイ、キンクロハジロ、
クイナ、クサシギ、クロジ、コガモ、コク
マルガラス、コゲラ、コサギ、コハクチョ
ウ、コブハクチョウ、シジュウカラ、シメ、
ジョウビタキ、シロハラ、スズガモ、スズ
メ、セグロカモメ、セグロセキレイ、セッ
カ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、タヒバリ、
チュウサギ、チュウヒ、チョウゲンボウ、
ツグミ、トビ、トラツグミ、ノスリ、ハイ
イロチュウヒ、ハクセキレイ、ハシビロガ
モ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハ
ジロカイツブリ、ハヤブサ、バン、ヒクイ
ナ、ヒドリガモ、ヒバリ、ヒヨドリ、ピン
ズイ、ベニマシコ、ホオアカ、ホオジロ、
ホシハジロ、マガモ、ミコアイサ、ミサゴ、
ミヤマガラス、ムクドリ、メジロ、モズ、
ヤマガラ、ユリカモメ、ヨシガモ、ルリビ
タキ 以上 91 種
<番外種>カワラバト、コジュケイ

今回の投稿者の総投稿件数

飯泉仁	228
飯泉仁・飯泉久美子	265
飯泉久美子	15
池田日出男	2
小山雄司	28
金子雅幸・船津登・桑森亮	43
桑森亮	21
桑森亮・船津登・松田幸保	55
鈴木静治	217
鈴木静治・船津登・間野吉幸 ・千葉洋	20
鈴木静治・船津登・間野吉幸 ・池田日出夫・金子雅幸・ 蒲田知子・千葉洋	23
畠中暁美	6
畠中暁美・桑森亮 ・松田幸保ほか 10 名	26

畠中暁美・松田幸保他 9名	25	百瀬喬	1
平岡考	3	吉田隆行	50
船津登	210	総計	1288
松田幸保	3		(弘實和昭)
松本勝英	47		

【会員だより】(ab-yacho より)

【中峠にタゲリたち】

2016.12.2 松本勝英

昨日(12/1)、15時過ぎから日課の”犬任せ散歩”に出掛けました。林の中からカケスの声に追われるように、林を抜けると、右前方の斜面林からノスリが飛び立ち、左後方の林に消えました。目の前を横切る雄姿に見惚れる一瞬でした。気を良くして進むと、利根川沿いの草地にタゲリが6羽いました。今季の初認が11/16に2羽でしたので半月ぶりに増えたようです。

【ハクガン幼鳥が飛来】

2016.12.21 中西榮子

昨シーズン、都内に3羽のハクガン幼鳥が飛来して話題になりましたが、本埜村の白鳥の郷にハクガン幼鳥1羽が飛来しております。今朝、行って参りました。今朝は、霧がかかり、視界がだんだん悪くなってしまいましたので、様子だけ見て参りました。

【西白井調整池のアメリカヒドリ】

2016.12.25 百瀬喬・池田日出夫

西白井にアメリカヒドリが渡来し、30羽ぐらいのヒドリガモと一緒に滞留していました。観察の結果、アメリカヒドリと思われる個体も認めることができました。

【正月の中峠周辺】

2017.1.7 松本勝英

七草の晴れ間に、ちょっと付近を遠出してみました。中峠では、クサシギ、キセキレイがいつもの水路で採餌していました。新木との境の枯れ田の水道栓先にノスリが佇んでいました。ロイヤルセンター脇には、タゲリが9羽に増えていました。古利根沼沿道では、アオジ、ベニマシコ、カワセミに会えます。

【ユリカモメの行動1】

2017.1.16 松田幸保

手賀川横の田んぼで、田起し中の耕運機にまといくつかユリカモメの集団(他のカモメも混じっているらしい)を2度見えています。最初はサギと思ったほどです。カモメの進化?

【Re ユリカモメの行動】

2017.1.17 田中功

情報ありがとうございます。興味がありますので、カモメたちの行動の様子・情景を、もう少し、詳しくに教えていただければ、幸甚です。「鳥便り」にも収録させて戴きたい、と想っています。

【ユリカモメの行動2】

2017.1.18 松田幸保

身軽な鳥のせいか飛び回ってわさわさしていますが、耕運機のとりに付いて土くれからなにやら食べているようです。諦めも早い感じです。

【揚げひばり初認】

2017.1.18 松田幸保

昨日、手賀川の南側で揚げひばりを確認しました。
じきに降りてしまいましたが、他ではいかがでしょうか？

【手賀沼のミサゴ倍増？】

2017.1.19 松本勝英

朝 9 時～12 時半まで、舟でのガン・カモ調査のこと。上沼、下沼ともに、ミサゴがそれぞれ 2 羽いました。いつもの定位置に 1 羽ずつ杭先に止まっていたが、なんと手賀大橋北詰（我孫子高校）の植生帯の沖の杭、同じく手賀大橋南詰～ハス田の葦原に 1 羽づついました。流れ者が居つくのかテリトリー争いに発展するか心配です。倍増！？

【鳥だより 2 件】

2017.1.23 平岡考

山階鳥研の横の坂を上った畑ではヒヨドリが食べるものがなくなったのか、野菜の葉を食べています。昔は野菜は食べなかったと思いますが、いまは本当にあちこちで見られると思います。
それから先週金曜日にシメが市役所のロータリー横のケヤキにいたので記録しました。

会からのお知らせ**< 新入会員紹介 >**

菊池幸雄、昌江様（柏市在住）、佐和橋みどり様（柏市在住）の 3 名の方々です。

< 年会費納入のお願い >

平成 29 年度の会費納入の時期が来ました。会報に郵便局の振込用紙を同封しましたので、4 月 10 日までに払い込みをお願いします。なお、例会(3/12、4/9)、総会(4/9)等で会計に直接お支払頂く場合は振込用紙を破棄してください。

年会費 2,000 円（大学・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員無料）

< ご寄付 >

小林寿美子さん、間野吉幸さん、野口隆也さん、相良直己さん、桑森亮さんよりご寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

ほーほーどり No. 255 （2017年3～4月号）

発行 2017年3月1日

発行人 間野吉幸

編集人 青木典子、古出洋子、小玉文夫、佐々木隆、千葉洋、野口紀子、松本勝英、
宮下三禮

事務局 〒270 1143 我孫子市天王台 2-15-17 桑森亮 Tel: 04-7182-3149

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140 - 2 - 647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000 円（大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料）